

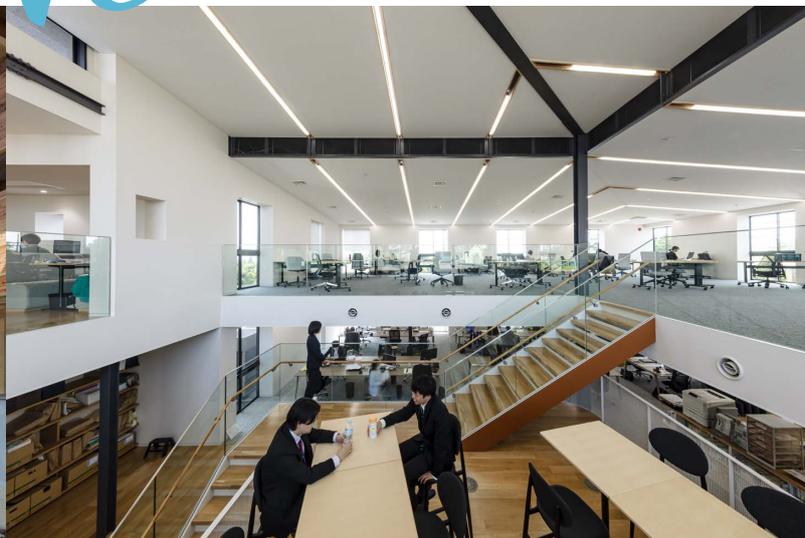
S H I Z U O K A

# SHIJKYO

しずおか建築士事務所協会ニュース

News

2024.7  
no.187



一般社団法人静岡県建築士事務所協会  
Shizuoka Association of Architectural Firms

完全WEB版になりました!

HPよりデジタルブックをご覧ください。  
<https://www.shijikyo.or.jp/shijikyo/>





## 会長 金丸 智昭

(株)金丸建築設計事務所一級建築士事務所

日頃より当協会の活動にご理解、ご協力いただき誠にありがとうございます。令和6年度の定時総会にて、会長に重任頂きました金丸智昭でございます。引き続き協会発展のために尽くし、皆様に必要とされ、活気のある建築士事務所協会にしていきたいと思っておりますので、どうぞよろしくお願いいたします。

さて今年、元旦に起こった能登半島沖地震から始まり、4月には台湾でも大きな地震が起きました。特に能登半島の耐震化率の低い木造の多い地域では、多くの建物が倒壊などの被害にあい、いまだに元の暮らしが出来ていない現状であります。地震直後の応急危険度判定には、全国の自治体職員が対応され、静岡県をはじめ市町の技術職員が現地に入り活動されました。また当協会には、非木造建築物の被災区分判定の技術者を派遣してほしいと石川県建築士事務所協会から要請がありましたので、4月に技術者を派遣し活動していただきました。被災された方々には心よりお見舞い申し上げますと同時に、静岡県も大規模地震が発生しますと伊豆半島をはじめ、各地で被害が発生することが予想されます。静岡県は耐震先進県として、また当協会も耐震化を進めてきた技術者集団として、我々が出来ることは何かを改めて検討してこれからの活動に役立ててまいりたいと思っております。

今我々を取り巻く社会環境、特に建設業界は年々厳しさを増しております。資材の高騰、材料の納入時期の遅れ、職人や現場監督の人材不足など様々な問題が発生しておりますが、これらは今後も続いていくと思われます。それに連動して建築費の高騰が、ここ数年間で1.5倍以上上がったとも言われています。また働き方改革で現場の4週8休により工期が延び、ますます工事費の高騰が続くと思われます。それに伴い計画の見直しや、設計の中止、変更が皆様のまわりでも起きているのではないのでしょうか。この厳しい時こそ、会員の皆様に必要な情報提供を迅速に届けてまいります。

また当協会では、数年前に静岡県教育委員会と災害に関する協定を結んで参りましたが、昨年には富士市と菊川市、そして今年は掛川市と協定を締結し、その他の自治体でも準備に入っている所もあります。これは、災害も最近は多様化してきており、各自治体でスピーディーな対応を求められる事から、協会では我々の技術や知識をいち早く提供できるよう積極的に進めております。今後も県内のすべての自治体に協定の締結を働きかけ、災害時だけでなく当協会との信頼関係をますます築いていきたいと思っております。

それから今建築士が求められている知識や技術として、1つ目は省エネ適判の義務化や ZEB・ZEH 対応、2つ目は中大規模の木造建築物への設計対応、3つ目は BIM を用いた設計対応があげられます。当協会では、省エネ適判をはじめとする省エネ対策への取り組みは、昨年度より実施している省エネ計算技術者養成プログラムを今年度も行い、確実に省エネ計算が可能な技術者を増やしてまいります。また中大規模の木造建築物への取り組みは、昨年度からの木造に関する講座をシリーズ化し、木造の設計に必要な知識や技術の習得を図ってまいります。また BIM への取り組みも昨年から引き続き、少人数による演習プログラムなどを行い、BIM の知識と技術力を向上させてまいります。

このように、会員の皆様に今必要とされる知識や技術を提供し続け、今年も精力的に活動してまいります。今後とも皆様のご理解・ご協力をよろしくお願い申し上げます。

SHIZUOKA  
SHIJKYO

しずおか建築士事務所協会ニュース

News

2024.7  
no.187

特集

02 新年度のご挨拶

03 新年度理事の紹介

08 令和6年度 定時総会

10 Shizuoka Design Award  
建築賞2023

16 支部だより

19 お知らせ

20 編集後記

## 新年度副会長・専務理事の紹介



副会長 **立道 浩幸**

(株)蒼設計

担当役員／総務・財務 広報・渉外 指導運営



副会長 **鳥居 久保**

企業組合針谷建築事務所

担当役員／建築文化 地域交流



副会長 **藤原 龍美**

(株)ヴァイスプランニング一級建築士設計事務所

担当役員／教育・情報 業務 技術



専務理事 **荻野 泰用**

(一社)静岡県建築士事務所協会事務局



Architect Design Association

代表取締役 金丸 智昭

〒421-0103 静岡市駿河区丸子1丁目3番4号

TEL : 054-256-6700 FAX : 054-256-6695

URL : <https://www.kanamaru.net/>



新社屋内観イメージ



株式会社 **蒼 設 計**

代表取締役 立道 浩幸

本 社 静岡県御殿場市茱萸沢1077番地

三島営業所 静岡県三島市萩720-12

U R L <http://www.kkaoi.jp>

TEL <0550> 89-8118 FAX <0550> 89-8778

TEL <055> 941-5911 FAX <055> 941-5916

新年度理事・監事の紹介



東部支部長

〈常務理事〉 **田代 陽介**

(株)池田建築設計事務所  
(東部支部)



中部支部長

〈常務理事〉 **佐藤 信行**

(株)七丈設計  
(中部支部)



西部支部長

〈常務理事〉 **中尾 有希子**

(株)渡辺建築設計事務所  
(西部支部)



総務・財務委員長

〈理事〉 **中村 裕之**

(株)フレームアーツ構造・設備設計  
一級建築士事務所(西部支部)



教育・情報委員長

〈理事〉 **飯尾 哲秀**

(株)飯尾建築設計事務所  
(西部支部)



業務委員長

〈理事〉 **高橋 辰弥**

(株)高橋茂弥建築設計事務所  
(中部支部)



広報・渉外委員長

〈理事〉 **齊藤 滋史**

(株)齊藤文雄建築事務所  
(中部支部)



指導運営委員長

〈理事〉 **三田 義洋**

(株)フォルム一級建築士事務所  
(東部支部)



株式会社 ヴァイスプランニング一級建築士設計事務所

代表取締役 藤原 龍美

掛川 アトリエ 静岡県掛川市千浜 6125  
掛川 事務所 静岡県掛川市入山瀬 1094-4  
静岡 事務所 静岡県静岡市葵区伝馬町 24-2  
U R L <http://v-iss.net/>

TEL:0537-72-4885 FAX:0537-72-2815  
TEL:0537-74-5832 FAX:0537-74-5833  
TEL:054-652-3121 FAX:054-652-3122



株式会社 **齊藤文雄建築事務所**

代表取締役 **齊藤 滋史**

ご案内：区画整理の完了に伴い、郵便番号と住所の表記が変わりました。

〒425-0048 静岡県焼津市東道原 8 番地の 5

(建物の場所は変わりません)

TEL : 054-623-2233

FAX : 054-623-4234

URL : [sfk-main@uv.tec.ne.jp](mailto:sfk-main@uv.tec.ne.jp)



建築文化委員長

〈理事〉 **山本 康二郎**

(株)空間デザイン一級建築士事務所  
(中部支部)



地域交流委員長

〈理事〉 **弓場 千也**

(株)アーキプラン  
一級建築士事務所(西部支部)



技術委員長

〈理事〉 **植野 昌孝**

(株)植野建築設計事務所  
(東部支部)



〈監事〉 **小沢 敏郎**

(一財)静岡県建築住宅  
まちづくりセンター(外部)



〈監事〉 **石井 好治**

一級建築士事務所  
石井建築設計(株)(東部支部)



〈監事〉 **河合 晴夫**

(株)河合晴夫一級建築士事務所  
(西部支部)



耐震評定副委員長

**望月 滋人**

(株)望月建築設計事務所  
(中部支部)

＝豊かな経験・最新の技術＝

電気工事・通信工事・FA工事・メンテナンス・太陽光発電システム



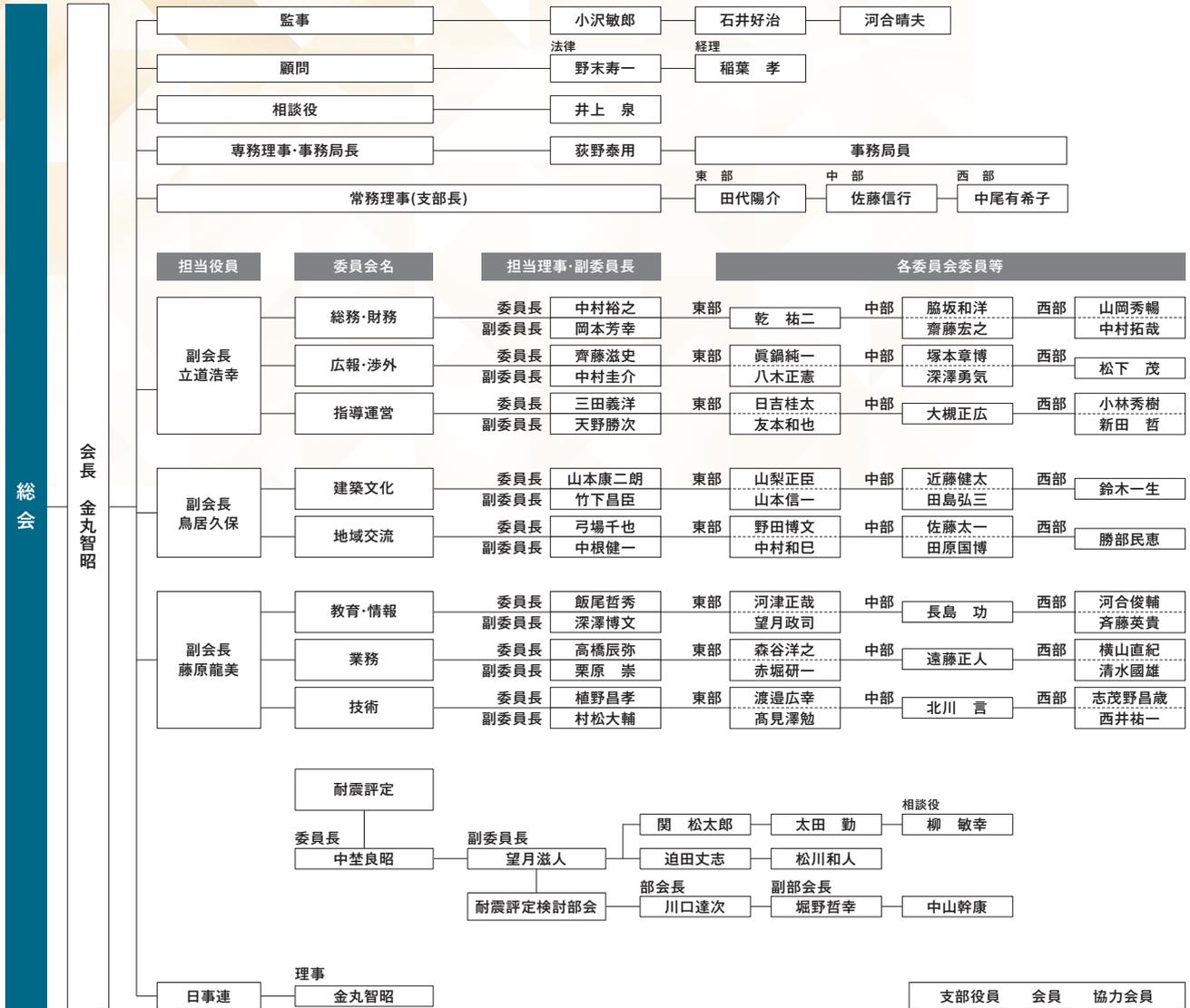
株式会社シズデン

代表取締役 増田 洋 健

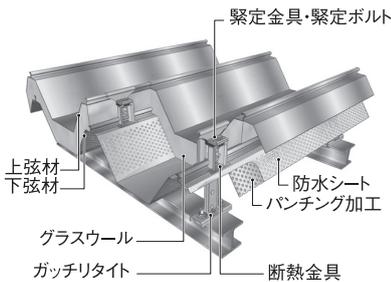
本社／静岡市駿河区曲金 5-17-5 TEL 〈054〉 284-4111 FAX 〈054〉 284-6753

支店／東京・神奈川・東部・中部・西部

# 令和6・7年度 役員・委員会組織表 (令和6年6月25日)

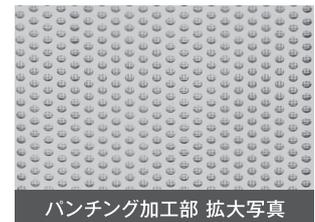
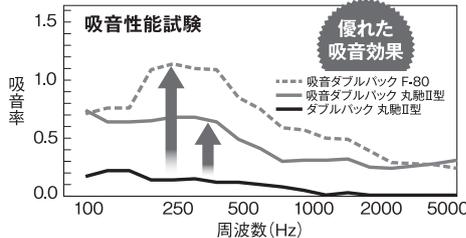


## 吸音ダブルパック®



通常のダブルパックが持つ屋根としての優れた性能にさらに吸音性能を加えました。  
 バンチング加工した下弦材は美観に優れ、そのままでも天井として使用できます。  
 室内環境によっては発生する上弦材裏面の結露水も、バンチング孔から滴下させずに外部に排出します。  
 残響音を低減したり、地震時での天井落下の危険性を排除したい体育館や、機械騒音を低減したい生産工場や製品倉庫に最適です。

三晃金属工業株式会社  
**Sanko**



**三晃金属工業株式会社**  
 URL <https://www.sankometal.co.jp/>

■ 浜松営業所 〒430-0923 浜松市中央区北寺島町125-23 中村ビル301号室 TEL:053-458-7515  
 ■ 静岡営業所 〒460-0008 静岡市葵区西草深町24-10 花村ビル TEL:054-209-5181

# 除湿型放射冷暖房 PS HR-Cで 省エネ ZEB 庁舎を実現

川上村庁舎 長野県 南佐久郡



## 庁舎 × 地中熱利用 × ZEB

川上村は高原気候が特徴で、レタスの生産量日本一を誇る自然豊かな長野県南東部の村です。地場産の木材をふんだんに使い、村民に愛着を持ってもらえる新庁舎が完成しました。

建設にあたり、低炭素社会への取り組みとして、環境に優しい建築を目指しました。地中熱ヒートポンプ・太陽光発電システムをはじめとする高効率省エネルギー技術・自然換気を組み合わせた計画の中でそれらと相性の良いピーエスの除湿型放射冷暖房 PS HR-C が採用されました。

建物性能等を併せることで、庁舎は長野県で初となる ZEB-ready を達成し BELS 認証を獲得しています。令和 3 年度二酸化炭素排出抑制対策事業費等補助金「レジリエンス強化型 ZEB 実証事業」を活用しました。



## 除湿型放射冷暖房 PS HR-C とは...

ラジエータ内に冷温水を循環させ、空間全体を放射と自然対流により、自然な温度変化と、安定した涼しさ・暖かさをつくります。ファンやコンプレッサーなどが無いので風や騒音が発生せず、上下温度差が起きにくいことが特徴です。公共施設のエントランスホールや体育館など大空間にも適した空調方式です。



温度と湿度の専門メーカー ピーエス工業株式会社 T:03-3485-8811/M:info@psk.co.jp



こちらのマークをクリックすると動画をご視聴できます。



令和6年度定時総会が、去る5月29日(水)静岡市の「ホテルアソシア静岡(カトレア)」において開催されました。本年度は役員改選の総会ということもあって、会場が満席となり盛大に開催することができました。総会の定足数は出席の正会員69事務所、書面表決201事務所、合計270事務所が出席とみなされ、過半数を充足しており総会が成立し審議に入りました。立道議長により議事が進行され、原案どおり成立されましたことを、会員の皆様にご報告申し上げます。

議事終了後には、令和5年度から令和6年4月までに入会された正会員13事務所、協力会員26社を紹介し、合計39社もの会員拡大ができた経緯も含め、事業として取り組まれています「会員拡大の協力」につきまして金丸会長より説明いただきました。そして、最多の紹介を頂きました西部支部の中村拓哉様が代表して褒章を授与されました。

休憩を挟んでの2部では、長年に亘り協会活動に尽力され、この度役員を退任された高木一滋様、川口達次様、中村伸夫様に会員一同より感謝状が贈呈されました。

その後、来賓をお迎えし、静岡県議会議員の杉本好重様、静岡県の池ヶ谷弘巳様からご祝辞を頂戴したうえ、衆議院議員の上川陽子様、井林辰憲様、宮澤博行様、深澤陽一様、静岡市長の難波喬司様より祝電をいただいております。また本年度の県知事表彰には、齊藤滋史様と高橋辰弥の2名が授与し、静岡県くらし・環境部部長の池ヶ谷弘巳様より表彰

状が伝達され、その荣誉が讃えられました。総会最後には、2回目の開催となります「Shizuoka Design Award 建築賞2023」の入賞・入選者の表彰式も執り行われ、総会後の懇親会におきまして、審査委員長の保坂猛先生から各作品の講評もいただきました。

懇親会は、佐藤常務理事の司会のもと盛大に開催され、協力会員の自社PRタイムなどの情報交換や交流が深められた大変楽しい会となり、中尾常務理事の締め挨拶により無事終了いたしました。

今後も、会員の皆様には静岡県建築士事務所協会の運営につきまして益々のご理解ご協力を宜しくお願い致します。

令和4・5年度総務・財務委員長 高橋 辰弥



司会 高橋総務・財務委員長



金丸会長挨拶



受付



開会のことば 藤原副会長



新役員紹介



司会 中村新総務・財務委員長



新役員席



来賓の皆様



楽しく乾杯



協力会自社PRタイム



建築賞講評



静岡県建築士事務所協会建築賞表彰



Shizuoka Design Award 建築賞2023



保坂審査委員を囲んで



懇親会恒例の集合写真

## 有限会社 ナップ建築設計室

〒431-0103 静岡県浜松市中央区雄踏二丁目24番30号  
TEL053-596-5181 FAX596-5182  
<http://www.nap-nap.co.jp>



# Shizuoka Design Award

入賞

住宅部門

## 山手の家

(株)後藤周平建築設計事務所 一級建築士事務所  
後藤 周平



### 講評

山手の住宅地特有の道路から1段上がった宅地レベルが、ここでは各住宅の宅地レベルがまちまちであることによる地盤面とそこに立つ建物の軒高の段違いによる周辺風景から導かれるように考案された、6つのレベル設定がされたボリュームが違い違いに噛み合いながらセットバックするコンセプト的な構成だ。この場合、ボリュームの噛み合うところの取り扱いをどう処理するかが見どころと思い現地を拝見したのだが、見事に超越していた。ボリュームはそれぞれ荒さのことなる仕上げ左官の解像度が噛み合うところで壁や床で計画不能になりそうな衝突をみせながらも、それらを丁寧に現場で一つ一つ検討し回答を出した作者の誠実な態度の集積が他では見られないような空間に仕立てあげていた。左官のザラツキの多様さは、室内音響的にも吸音・反響のバランスが良いようで、当日緩やかにかけられていたオーディオの音が心地よかった。この様々な左官の表情は実はアート作品を展示する展示壁(背景)としても考えられており、家の中で場面が次々と展開するシークエンスが素晴らしかった。

入賞

住宅部門

## 美菌の家

(株)SN Design Architects 一級建築士事務所  
佐野 剛史、鈴木 俊哉



### 講評

道路から見ると切妻型が外装や軒の研ぎ澄まされたコントロールもあいまってワンランク上のシンプルな佇まいだ。その手前の植栽、車のスペースの屋根下ヴォイド、その奥の庭にコントロールされた視線が少しだけ抜ける。無理のない丁寧な仕事の積み重ねにも一見みえなくもないが、現地をよく見ていると随所にここまでできるという確信に裏付けられた大胆さがいくつも仕込まれている。とてもシンプルなお家でいて、実は市松状に配された外空間とヴォリュームの取り合いや、それらに関係づける各所の開口部、手すり、カウンター、土間などどれも普通ではない質の高い仕事であった。庭から見る立面はそれらが集結しつつプロポーションまで良く稀に見るような立面であり、この立面に面して佇むかのようにお施主さんが2階ブリッジのワークカウンターで仕事をし、猫は土間に面して窓を見ていた情景が混ざり合っていて素晴らしかった。

入賞

住宅部門

## 西ヶ崎町の家

minato architects  
金原 大祐



### 講評

茫漠と広がる畑の風景の中にスッと置かれたようなボリュームが、ほとんどフェンスなどもなく肩の力の抜いてリラックスした感じで建っていた。玄関を開けると子ども室や寝室といったいわばプライベートゾーンが仕切りもなく広がっていて驚いた。その驚きは、ただ無防備にプライベートゾーンが突然あったこともそうだが、実はこのスペース一帯がいい意味で日常の散らかった風景でありながら同時にギャラリーホールのような雰囲気でもあったからだ。そのような普通考えないようなやり方を、さらりと達成するイメージーションの自由さが心地よかった。その心地よさは、その上のロフトや仕事場にも同じく染み渡っていた。一方、リビングゾーンはまた異なる作り方の空間であったが、むしろ普通はこうなるという空間がそこにありこちらも豊かな空間であった。このゾーン分けされた2つの世界を行き来する不思議な魅力に独創性を感じた。

# 建築賞2023

各受賞施設の施設名をクリックすると、  
作品説明書をご覧いただけます。

入賞

一般部門A

## ゆりのき保育園

(株)SN Design Architects 一級建築士事務所  
佐野 剛史、清水 克吉



### 講評

中庭が重要な建築を、雨の日の午後に見ることとなり心配であったが、むしろ予想を超えて素晴らしかった。応募資料の写真と図面ではこの中庭は少し狭いかもかもしれないと思ったが、その中にたくましい庭(土の起伏、複数の石、何本もの樹木)があり、設計者はこの場所を狭いとは考えておらず、実面積を超えてたくましい場所が内包されていた。その周りには一見通路のような舗装面が四角く囲っているのだが、これも通路というよりも子どもたちがぐるぐる走ったり、戯れたりして全くスペースの幅の狭さのようなものを誰も問題に感じてはなかった。何より、雨が降っていたが十分な庇により雨がかけられないスペースを中庭にぐるりと形成しつつ、真ん中に雨を降らせていたのだ。ほとんど四角いパンテオンというイメージをもった。パンテオンは純粋な祈りの空間であり、保育園の中庭もなにか子供たちの純粋さがこの場所の空気を見たし、そこに雨や風、光が注ぎたいへん豊かな空間が実現していて素晴らしかった。この空間を原風景として育っていく子どもたちへの影響と意義は計り知れない。

入賞

一般部門B

## Okanomiya Office

(株)竹下一級建築士事務所  
見玉 卓哉、浅井 唯那



### 講評

1200㎡の大きな規模の会計事務所の社屋。情報の守秘やプライバシーへの配慮などとても硬いイメージの業種であり、業務風景もおおのずと固くなるイメージをもつが、その硬さを程よくやわらげつつ、守るところは守り開放的にできる部分は伸びやかに解放することを、シンプルな建築的構成により達成している。3つの正方形を雁行させるわかりやすく強さもある構成であるが、正方形が重なり合う部分で空間的にも納まり的にも要検討の難しい問題をうまく解かれた力作だ。また全体のグリッドを2m4m8mと倍数をうまく用いて、大きな空間や小さな空間を適宜生み出しながら、全体として2mグリッドの柱と梁による小径材ブレース構造を細かな杭に載せる骨の計画にも知恵が絞られていて、適切な計画へと到達する高い設計力が際立っていた。外観は2mグリッドの開口部と壁がリズムカルに配された合理的なもので、会計事務所の建ち姿として落ち着きがあって良かった。外周の樹木の緑が大きくなれば、落ち着いた壁面の色が背景となって、より景観に馴染んでいきそうだ。軒を出し窓が開けられるオフィスであることもこれからの時代に合っており、軒のコーナーをRにし硬い外観をすこし和らげ優しい表情がつくられていた。コストのバランスやプログラムへの適切かつ創造的な解を高い建築的知性により導く若い力をみた。

入賞

改修・増築部門

## はつはな

(株)石井建築事務所  
鈴木 俊之



### 講評

箱根新道須雲川IC出ですぐの、老舗旅館はつはなのリノベーション。外観は既存の屋根はほとんどそのままとし、外壁は既存の白色から落ち着いた茶色吹き付けとし、最低限に手を加えている。内部は現代のニーズに合わないものをなくし、ニーズに合った室構成とし、ダイニングも客室も浴室も敷地北側目前に広がる景色に向けてラグジュアリーにつくられている。敷地北側の眺望は、近景に敷地内の高さ10-15mはありそうな大きな桜の木の幹と枝、中継に須雲川の流れと音が、その向こうに(遠景というほど遠くなく目前に迫る)山の木々と稜線が重なり合ってすばらしい。これを見ながら全室露天風呂とした客室のプランは、年間を通してこの環境をラグジュアリーに最大楽しめるようよく工夫されている。元々内部であったスペースをテラスとし、その奥行き寸法は風呂と大きな屋外家具を置いて使える適切な寸法であり、外装塗装色の明度を下げ、改修以前は虫に悩まされたことも見事に解決し快適なラグジュアリーを実現している。改修の手続きが、蓄積された事務所の実績に裏付けられた実力があって、安定したパフォーマンスを発揮していると感じた。この素晴らしい環境を十分に楽しむために必要な設計判断が一つ一つの確であり、また演出も必要十分にされているが過剰でないバランスがとても良く、こうした改修が可能であること示したことが、これから多くの人々を勇気づけるものと思った。

入選

住宅部門

## LOAM

(株)アート総合設計  
鈴木 亜生

## 講評

建築の建設場所には必ず現地の土がある。その土を使って建築をつくることができれば、それは地産物産を使った建築造営であり究極の環境建築だ。これに取り組むことは容易ではなく、現地の関東ロームの土を適切に取り出し、これを床に使うタイル状に、壁に塗る左官可能な状態に、壁に使えるブロック状に、など形成することは現場ではできないからそれを可能にしてくれる所定の工場へと土を運ぶことになる。そのための運搬はやはり地産地消的なストーリーにおいてジレンマはあるのだが、しかしそれを超えて設計者の挑戦は途方も無いエネルギーが注がれており、無理を可能にするバイタリティと信念は賞賛しなければならない、と思った。実際現地で採取された関東ロームでつくられた床の上を歩き、壁に塗られた壁面を見ながら、外を見れば土ブロックが透かして吊られたスクリーンに囲まれた状態を体験し、率直にすばらしいと思った。大変な試みが続けられていると思うのだが、未来へ向けて今後の展開がとても楽しみだ。

入選

住宅部門

## ひかり庭のコートハウス

杉山博紀建築設計事務所  
杉山 博紀

## 講評

恵まれた大きな敷地のアドバンテージを十分に生かすべく、口の字型の中央に大きめの中庭を設け、内周と外周に軒をさげる切り妻を口の字方向にスweepさせて作られるコートハウスである。外側にも車のスペースとからめて玄関まわりに大きな軒下空間がつけられていて、プライバシーを程よく守りながら道路を隔てた飲食店舗との動線も含めた周辺との関係もうまくつづけている。住まれる多世代、多世帯が住うことの距離感を中庭でうまく関係付けながら、生活を楽しもうとする人間活動が実にいきいきと使われていて素晴らしかった。天井の高さ、中庭の広さ、ガレージの広さ、収納の多さ、中でも外でも火を使う生活など、コートハウスの一言では考えられないようなたくましい様がとても心地よい。それは人間生活への強い関心をもってそれを肯定しその具体性を生かすように、建築の平面・断面の形式をうまく与えつつ生々しい建築の作り方がうまくバランスしていると思った。

入選

住宅部門

## ゆきはるの家

(株)tot一級建築士事務所  
中根 健一

## 講評

敷地の目の前に大型商業施設の立体駐車場が面するという厳しい条件に対して、適度に視線を切る袖壁を設け、庭の囲いを通常よりも少しだけ高さを上げ、過剰にならないような程よい設計判断はとても好感もてた。外観も天竜材の杉板と押縁による取り替え可能な持続性に配慮したつくりで、前述のロケーションに対してネガティブな諦めではなく、とてもポジティブに計画されている。実は設計者は設計をやりながら工事請負もやるというスーパーマンであり、それだけでなくは実現できないような信じられないスケジュールでも、設計着手時から細かな工事工程表をつくり、時間がないから省略・簡易化するのではなくむしろ非常に細やかな対応を積み重ねてこの建築がつけられていて大変驚いた。こうしたプロセスの中で天竜材をふんだんに使い、設計者の言い方は木配り(構造材1本1本の特性を把握し、適材適所で使用するために番付を行うこと)まで行われており、そうした仕事を現地で拝見し新しい職能の姿を見る思いがした。

入選

一般部門A

奥平測量設計事務所新社屋  
cielo espresso coffee(株)トランススタイルアーキテクト  
大矢 雅祥、中村 静香

## 講評

測量設計事務所の社屋にカフェを併設しているが、単なる併設というだけでなく、一般の方も利用できる地域に開かれたカフェという側面と、通常では開くことが難しそうな測量会社を一部開いていくことを、うまく重ね合わせたチャレンジであった。建物が外観は白いガルバリウムで片流れの屋根がかわいらしく軽やかで、道路側に配された植物とともに、地域に素敵な場所を生み出している。カフェは思いのほか力を入れていてカウンター部分だけでも相当しっかりした設備とエスプレッソマシンが設置され、さらに厨房スペースもあり、これからの展開が楽しみだ。客席の奥には測量用のドローンの展示やデモンストレーションで実際にドローンを飛ばすための吹き抜け的な空間もあり、イベント時も楽しそうであった。事務所スペースには通用口が設けられ、カフェとは対照的に割り切り型の集中業務スペースであったが、片流れの屋根の高いところ(吹き抜け)に向けて窓を開けてカフェと繋がっていて、程よいつながり感に心地よさを感じた。会社で働くということや、会社の地域社会との関わりなどへの、建築を通じた新しい試みは意義深い。

入選  
一般部門A

## トヨタユナイテッド静岡 ダイハツ小笠中央

(株)竹下一級建築士事務所 本田 真木

しずおかの木  
ぬくもり賞



### 講評

木造による自動車のショールームの計画である。地方都市の道路に面して、地域の人々の集いの場のような温かい雰囲気を醸し出し、白い折板屋根の即物的な外観、内観が軽やかなテントのようなイメージをつくることに成功していた。ランドスケープもオーストラリア系の植物を豊かに配し、ガラスに面して気持ちの良い場所をつくっていた。室内外には季節にあったキャンプ用品も展示し、車でキャンプに行く楽しさへとリンクされ、車とともにライフスタイルがより楽しくなるようなイメージが広がっていくような関連がよく考えられていた。こういった試みが、地域の人々の生活イメージを豊かなものに導いていく重要な役割を果たすことになるだろうと現地を拝見して感じられ、社会を変えていく力を十分に持ち得ると思った。

入選  
一般部門B

## ちはまこども園

(株)ヴァイスプランニング一級建築士設計事務所  
藤原 龍美



### 講評

約1600㎡のかなり大きな規模のこども園の計画であり、中廊下型のこれ以上ないくらいにシンプルなプランによってつくられている。中廊下は光通路と名付けられ、上からの光がところどころに設けられている。光通路の南側に保育室・教室がずらりと並び、一つ一つ63㎡から84㎡のおおらかな室となっていて、南の園庭に面して軒下半屋外スペースでつながれている。光通路の北側に管理部門、厨房、遊戯室など管理とその他の必要諸室が並び、わかりやすい施設計画で管理運営がしやすく配慮されている。とりわけ光通路とよばれる中廊下は、幅3m長さ70m高さ5m以上でつくられていて、通路でありかつ居場所にもなっているのだが、それを超えて街並というか心地の良いスケールの街路のようでもあり、子どもたちの元気な声があちこちから聞こえる賑わいが全部この光通路に集まってくるようで、なんとも豊かであった。音は吸音ボードなど必要に応じて十分に貼ってあることにより、元気な声が響きすぎず快適にできている。たいへんシンプルな平面計画の中で、この規模ならではの豊かさを、特に光通路において獲得するに至ったことに設計の奥深さがあると感じた。

入選  
改修・増築部門

## ランディパーク

(株)高木滋生建築設計事務所  
豊田 優作、小倉 優以子



### 講評

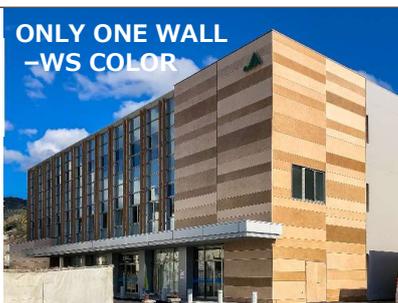
静岡駅と連結する地下通路に面した葵タワー地下階のテナントスペースに、県民共済の加入受付カウンターとランドセルの販売（県民共済の加入者向け）の2つの機能をもった内装の計画である。いわゆる店舗の内装計画という範疇ではおおよそ見られないような、重厚な木の集成材をふんだんに使った大胆な計画であり、一定ピッチで並ぶ集成材の門型が、全体として森のような空間を獲得し、立ち並ぶ集成材の門型に囲われた心地よさと、見る角度によって見えなかったり、真正面に立てばずっと通路まで見える空間が、人通りの多い駅直結通路に面した計画としてもとてもマッチしている。集成材の門型のピッチは、売り物として展示されているランドセルのスケールにちょうどあっていて巧妙だ。門型フレームがより強調されるような棚のディテールや鏡の取り合いなど気になる点もあったが、内装計画における細やかさよりもむしろ、その範疇を超えるような集成材の物量が他にはない大胆なインテリアをつくりだしたことに意義を感じた。



## 綿半ソリューションズ株式会社

静岡事務所 TEL 054-236-1281  
静岡市駿河区下島114 蔵敷ビル2F  
浜松事務所 TEL 053-431-1231  
浜松市中央区西ヶ崎町563

HP



## 事務所協会 奨励賞

各受賞施設の施設名をクリックすると、作品説明書をご覧ください。

部門	作品名称	事務所名	設計者
住宅部門	滲み合う空間	(株)トランススタイルアーキテクト	大矢 雅祥 中村 静香
	梅園の邸宅	(株)石井建築事務所	鈴木 俊之 小松 綾子 山森 掌太
	権現谷の家	(株)SN Design Architects 一級建築士事務所	佐野 剛史 鈴木 俊哉
	中庭を杉板コンクリート打放しで囲った ミュージアムのような平屋	(株)大岡成光建築事務所	大岡 成光
一般部門A	鴨川温泉 璃庵	(株)石井建築事務所	永田 直
	さなるこ保育園	(株)SN Design Architects 一級建築士事務所	佐野 剛史 久野 真雅 鈴木 啓生
一般部門B	どうする家康 浜松 大河ドラマ館	須山建設(株)一級建築士事務所	小野寺 司
	常盤工業株式会社本社事務所	常盤工業(株)	中村 圭介

## 〔審査委員〕保坂 猛氏（建築家/保坂猛建築都市設計事務所代表 早稲田大学芸術学校非常勤講師）



第2回の建築賞の審査員を中村委員長より仰せつかり、前回経験し責任の重さを思いつつ貴重な勉強の機会となることは間違い無く、再びお声をかけて頂いたことを光栄に思ってお受けした。

1次の書類審査では、全作品のA3pdfを提出頂いてから1ヶ月かけて熟読し、審査基準に照らして評価とコメントを記載（非公開）の上、住宅部門は14作品中6作品、一般部門Aは8作品中3作品、一般部門Bは7作品中2作品、改修・増築部門2作品中2作品を現地審査対象に選定した。選定したい作品が他にいくつもあり1ヶ月も要したこと、1次審査で選定されなかった作品の中にも素晴らしい仕事が多かったことをここに記したい。2次審査は2/21、2/22、3/1の計3日間で、静岡県外（箱根町、世田谷区）2作品も含め、前回の9作品を大きく上回る14作品を見せて頂いた。審査日は雨の日もあったが、最も激しい雨の時間帯にゆりのき保育園（SN Design佐野剛史さん清水克吉さん）の審査となったが、逆に雨でも中庭が十全に機能しながら豊かな空間が実現していることを確認でき感動的であった。1作品につき約1時間程度、現地で周辺環境や佇まい、使われ方をじっくり拝見し、設計者と建築主様にも話を聞くことができ、1日に6作品を見るというタイトにも思われたスケジュールであったが、大変充実した時間をつくって頂いたことに

感謝したい。審査基準に照らし熟考の上僅差で、入賞6作品、入選7作品、特別賞1作品（しずおかの木ぬくもり賞）という結果となった。

高く評価した入賞6作品のうち、後藤周平さんによる山手の家はまちから建築・家具に至るまで眼差しが徹底していた。SN DesignArchitects佐野さん鈴木俊哉さんによる美園の家は平面・立面・空間ともに質が高く設計の攻めと守りのバランス感に舌を巻いた。竹下一級建築士事務所の児玉さん浅井唯那さんによるOkanomiya Officeは合理性の先にある豊かさを獲得するに至る知性が光っていた。石井建築事務所による箱根はつはなでは改修における確かな設計判断と総合力の高さが認められた。金原大祐さんによる西ヶ崎町の家では肩の力を抜いた独特な世界観が認められた。今回は入賞作品が全部門から選出される結果となった。また後藤さん、佐野さん、児玉さんは2回連続入賞を果たし極めて高い実力が認められた。

入選7作品の中でも、鈴木亜生さんによる関東ローム研究の取組姿勢、杉山博紀さんによるひかり庭のコートハウスの生き生きとした空間と生活の様、竹下一級建築士事務所の本田真木さんによるトヨタユニテッド静岡ダイハツ小笠中央の工場的な白い折板屋根と住宅的な木組みのアセンブリーによる自動車整備工場と住宅地の中間領域、トランススタイルアーキテクトの大矢雅祥さん中村静香さんによる奥平測量設計事務所新社屋/cielo espresso coffeeの地域への気持ちの良い開き方、高木滋生建築設計事務所の豊田優作さん小倉優以子さんによるランディパークのCLTの大胆な使い方、ヴァイスプランニング藤原龍美さんによるちはまこども園のまちのアーケードのような豊かな中廊下空間、tot一級建築士事務所の中根健一さんの緻密な仕事など、素晴らしいことも記しておきたい。

建築賞の審査を通じて、静岡県の建築家による優れた仕事をこの目で確認し、建築の素晴らしさを広く社会に伝えたく、入賞6入選7特別賞1作品についての講評文で詳しく記した。協会HPや刊行物で、応募資料とともにご覧頂ければ幸いです。そして、応募して下さった建築家の皆様と、審査にご協力いただいた建築主様はじめ全ての方々へ感謝したい。

## Shizuoka Design Award 2023を終えて 地域交流委員長 中村 裕之

【応募期間】2023年8月1日～2023年10月31日

【応募総数】31作品（住宅部門：14作品、一般部門A：8作品、一般部門B：7作品、改修・増築部門：2作品）

【現地審査】2024年2月21,22日 2024年3月1,2日

この「建築賞」は2021年に地元の設計事務所作品を一堂に集めて審査する場を作り、静岡県の建築の質の向上を図るとともに、互いの建築作品への認識を高めるために設立され、今回が2回目の開催となります。

今回の事業に対し会員・非会員の多くの方々から、「31作品」の応募をいただき、心より御礼申し上げます。審査にあたり作品の優劣がつけ難く、各作品のレベルの高さが強く印象に残りました。

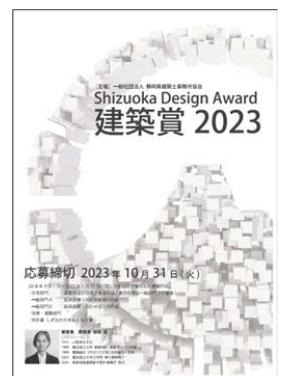
審査員は複数ではなく原則一人として、その一人の審査員に作品選出にあたっての権限を委ねるということ、審査員の任期は2～3年でそれを1クールとすること、最優秀を選ぶのではなくレベルに達した複数の作品を入賞（上位）と入選で顕彰すること、審査は書類と現地審査から成ること、等を選出の枠組みといたしました。引き続き回を重ねていけば、複数の視点の中で静岡県の多様な建築観を表出する「建築賞」になっていく事が期待されます。

また、今回は静岡県より木材の利活用について積極的に取り入れている優秀な作品について、「しずおかの木ぬくもり賞」という特別賞をご提供いただいています。

2回目の今回も審査委員長を前回と同じ保坂猛氏にお願いし、13作品の受賞（入賞・入選）、1作品の特別賞の決定をいたしました。建築家であり教育者でもあられる保坂氏の、地域性を読み解く講評と所見をご覧いただきたいと思います。受賞者だけではなく将来の静岡県の設計の質を高めていくためにも、保坂氏の作品に対する評価の言葉が多く設計者にとって創作活動の参考となれば幸いです。

先程も述べましたが、応募作品のレベルが高く現地審査の選考に苦慮しました。今回は、受賞にはなりませんでしたが、その努力と優れた作品を創出されたことに対し、別途事務所協会の選考により「士事協 奨励賞」を設け9作品を決定させていただきました。

最後になりますが、応募いただきました事務所の皆様と、この事業の益々の発展を祈念いたしまして、第2回の「Shizuoka Design Award 建築賞2023」の終了をご報告申し上げます。ありがとうございました。





# 防水

安全と安心を  
次のステージへ。

## Water Proof Shutter

防水シャッター



- 浸水高さ3mまで対応
- 管理用シャッターとしても利用可能
- 防火・防煙タイプもラインアップ (マルチハザード対応)



防火・防煙タイプは「防災防疫製品大賞©2021」※最優秀賞(新製品開発・セット部門)を受賞  
※防災安全協会主催

## W Tight Door

W タイトドア



- 浸水高さ3mまで対応
- 防水性と気密・水密性を備えた二重構造
- 津波荷重にも耐える高強度を実現

## Million Guard

ミリオンガード



- 浸水高さ490mmまで対応
- 簡単取り付けで工事が不要
- 防水板を取り付けたままで自動ドアの開閉が可能

## S Tight Door

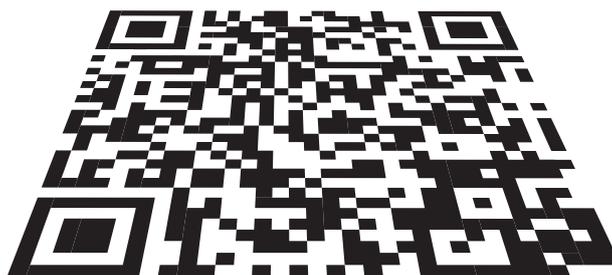
S タイトドア



- 浸水高さ2mまで対応 (スチール仕様は3mまで対応可能)
- 防水性と防火性を両立
- ドアを閉めるだけで防水性能を発揮

## WATER GUARD

— 三和の防水商品 —



防水商品について、詳しくは上記を読み取ってご確認ください。

近年、日本各地で記録的な大雨による浸水や冠水被害が相次いでいます。いつ起こってもおかしくない都市型水害から社会や建物を守るには普段からの備えが重要です。三和シャッターでは、地上はもちろん地下空間まで多彩な防水商品をラインアップ。都市や街の安全と安心を守る私たちの技術は、次のステージへとさらに進化を続けています。

三和グループ

三和シャッター工業株式会社

静岡市場開発課 静岡 054-262-0111 沼津 055-923-2522 浜松 053-422-7500



## 新年度挨拶

東部支部長 田代 陽介

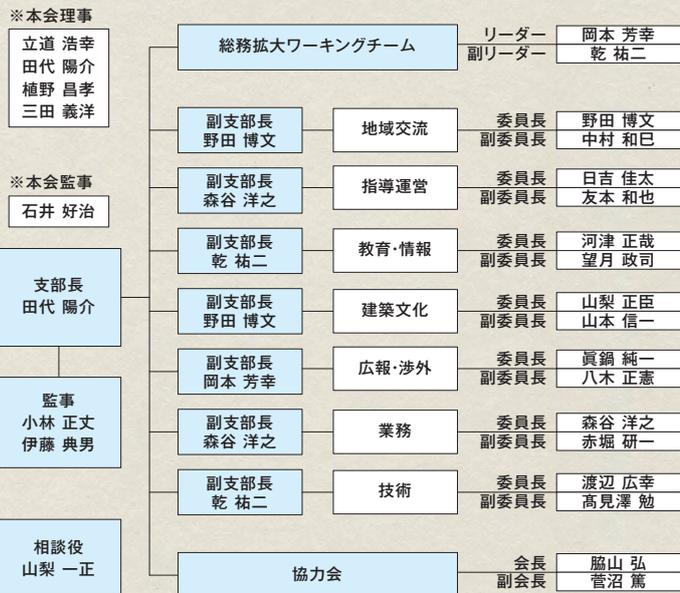
今年度も東部支部長を務めさせていただきます池田建築設計事務所の田代陽介と申します。

昨年度は春に新型コロナウイルス感染症が5類に移行され、コロナ禍前に近い状態で支部活動が出来たことを大変うれしく思っています。徐々に社会や経済が戻りつつある中で発生した元日の能登半島地震は非常に衝撃的でした。被害に遭われた皆さまへ心よりお見舞いを申し上げます。今もなお多くの方が避難生活を送っており、被害拡大の要因とされる能登半島の地形、インフラの脆弱化、高齢化による建築物の耐震化の遅れなど、伊豆半島と重なる点も多く見受けられ、改めて防災や耐震に対する意識が東部エリアでも高まっています。

そのような中で設計事務所として防災や耐震に関する課題を見直し、さらに新たな提案が求められていると感じています。そこで、今年度は協会の皆さまに最新の技術や情報を提供していただき、防災や耐震をテーマにした勉強会を開催したいと考えています。

今年度も支部役員の皆さまのお力添えをいただきながら、会員の皆さまに喜んでいただける有意義な活動となるよう努力して参りますので、どうぞご理解とご協力の程よろしく申し上げます。

### 令和6・7年度 東部支部組織図



※総務拡大ワーキングチームは副支部長全員で構成する

## 東部支部全体会議 東部支部協力会・懇親会

日時:令和6年5月22日(水) 場所:沼津リバーサイドホテル

本年度は全体会議・協力会と合わせ懇親会も開催されました。支部長からのご挨拶を頂き、令和5年度の事業・収支の報告、令和6年度の事業計画の報告がありました。

懇親会には本会から金丸会長、荻野専務理事にもお越し頂き、来賓や会員、協力会員を合わせて総勢60名の出席して頂き大変盛り上がりしました。

今年度は東部支部としても講習会を始めコミュニケーション機会を通して、会員や協力会員にとって有意義な活動に繋がればと思います。



建設現場を言葉で照らす。

# =D7 DAINANA

電気設備・空調設備・太陽光発電設備

株式会社ダイナナ

〒411-0816 静岡県三島市梅名 371-2

Tel. 055-977-3511 Fax. 055-977-7329

<http://www.dainana.co.jp>

## 新年度挨拶

中部支部長 佐藤 信行

令和6年度・7年度 中部支部支部長を担当する七文設計佐藤信行です。

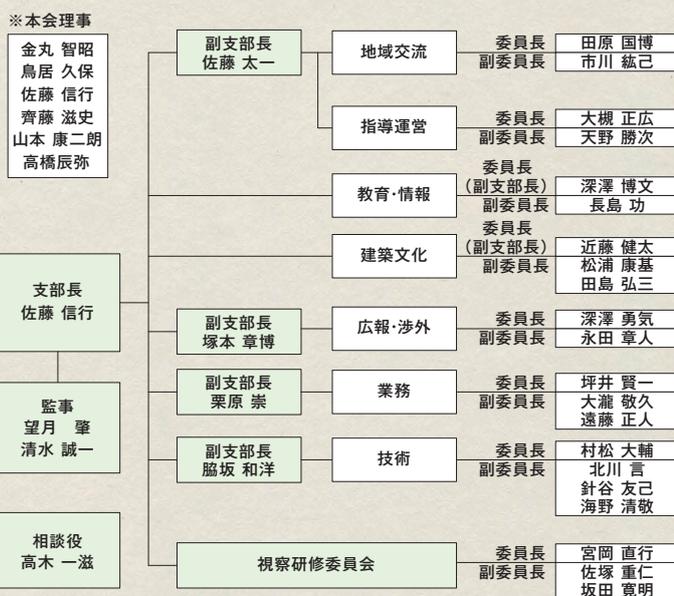
従来の中部支部の活動を踏襲しつつ、新たな活動を行い会員相互の技術力の向上と、会員の設計する建築の品質向上のお手伝いができるように努めていければと思います。

近年、建築設計の業務では社会の急激なデジタル化によって大きく業務の形態が変更されております。DXを活用した建築設計業務の改革が今後必須となっております。BIMにとどまらずBIMとAIの融合、プレゼン資料のAIの活用等、建築設計にとって社会課題となっている仕事の効率化を図るに当たりDXは必須になってきます。DXの様々な手法を検討し地域の設計事務所ができることを研修会等で紹介できればよいのではと考えます。

地域の建築事務所の役割の一つに“町医者”のような使命があると思います。地域の建物の困りごとを丁寧に解決し、さらにはそのことによって地域の建物の品質を少しずつ向上させていくことで、地域の人たちの信頼を頂き、そこから少しずつ身近な存在になっていくことが大切であると思います。

二年間という短い時間だけですが、よろしくをお願いします。

令和6・7年度 中部支部組織図



※総務拡大WGについては支部長・副支部長を中心として、役員相互にて積極的に行うものとする。

## 中部支部全体会議

日時:令和6年6月13日(木) 場所:協会会議室およびオンライン

中部支部では、6月13日にZOOMオンライン形式にて全体会議を開催しました。

オンラインですが30名以上の参加をいただきました。

冒頭、金丸会長に挨拶を頂きました。その後、昨年度の事業報告および監査報告、今年度の事業計画の報告を無事行うことができました。総会と中部支部全体会議と会議が続きましたが多くの皆様にご参加頂きありがとうございます。

近年、様々な要因により物価の上昇が大きく、支部の事業に対しても様々な制約が出始めております。そんな中でも例年通り多くの事業を開催する計画です。全体会議の開催を含む各事業を、様々な創意工夫により効果的に開催し、様々な切り口で会員の皆様のお力になり、より一層魅力的な中部支部を目指していければと思います。

最後になりますが、今年度の中部支部の事業をよろしくをお願いします。



SHINKO METAX 株式会社 シンコーメタックス

〒421-0122 静岡市駿河区用宗1丁目12-22  
TEL 054・257・6871 / FAX 054・257・6881

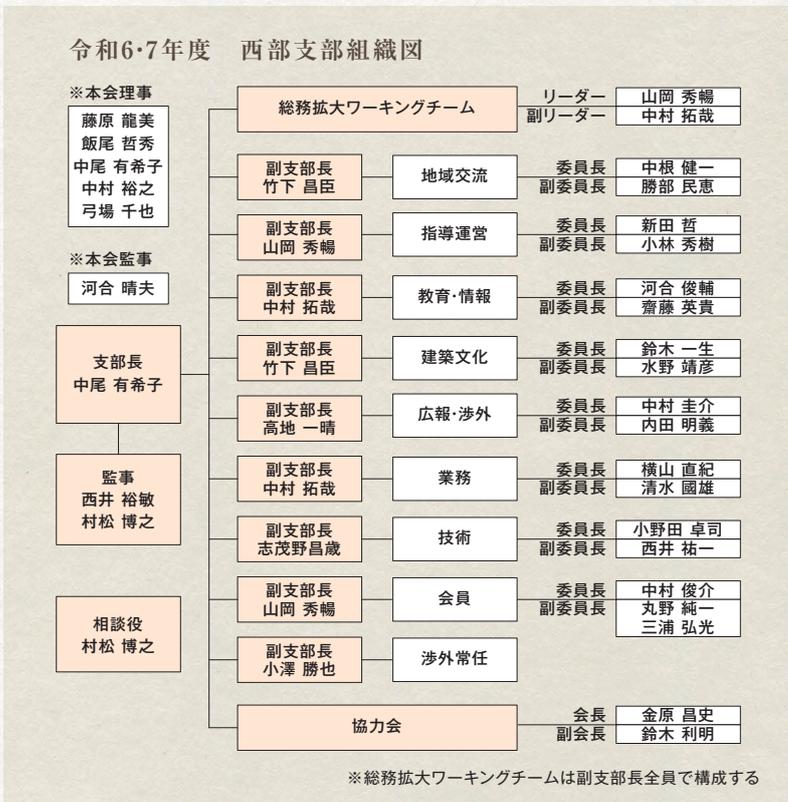


新年度挨拶

西部支部長 中尾 有希子

この度、3期目の西部支部支部長を仰せつかりました渡辺建築設計事務所の中尾有希子でございます。  
3期目となりますので、今までの経験を踏まえ、新たな気持ちで活動を行っていかうと思ひます。新役員となった皆様、継続して役員を担っていただく皆様、令和6年・7年の二年間も、どうぞよろしくお願ひいたします。

昨年度は、支部の活動も活発になり、多くの皆様とお会いする機会に恵まれました。本年度も引き続き、皆様と一緒に支部の事業に取り組んでいきたいと思ひますが、よく現状維持は後退と同じと言われるので、本年度は少しでも何か新しいことが出来ると良いと思ひております。ここ数年は、会員数の減少が悩みの種ですので、会員増強につながることを行っていかななくてはなりません。会員の皆様が「楽しかった」「役にたった」と思える事業を行っていくことで、必然的に会員が増えていくのだと思ひます。皆様のご意見を聞きながらお役にたてるよう、役員一同、頑張つてまいります。既に各委員会では、事業の計画を立て始めておりますので、事業のお知らせが届きましたら、是非、参加してください。西部支部の正会員・協会の皆様、本年度も変わらぬご協力をよろしくお願ひいたします。



西部支部全体会議

令和6年5月17日(金)、令和6年度(一社)静岡県建築士事務所協会 西部支部全体会議 春の親睦会がホテルクラウンパレスで開催されました。

全体会議には45名出席いただき、令和5年度の事業報告と令和6年度の事業計画の説明がありました。

支部長からはさらなる支部事業の活性化を期待するお話がありました。懇親会は、新たに正会員5社、協力会3社も増え、61名の出席となり、にぎわいを取り戻した懇親会になりました。

協力会の協賛によるアトラクションもあり、2時間がとても短く感じました。



杭工事・地盤改良工事 外構工事 外壁工事  
タイル工事などの各種工事 資材販売



株式会社 野村商店

静岡県伊東市和田 1-9-16

<https://nomuragroup.com/>

@nomura\_u35



## 令和6年度 第1回ゴルフコンペ

〔日時〕令和6年6月12日(水) 〔場所〕ホロンゴルフ倶楽部(菊川市友田1028-10)

### ● 優勝者 ワイ・エス販売(株) 宮岡直行様 コメント

6月というのに快晴でとても暑かったのですが、金丸会長ともご一緒の1組目ということで、緊張の面持ちの中ラウンドさせて頂き、HCが見事にはまったようで運がよく優勝出来ました。

中部支部の担当ということで、幹事を務めながらの佐塚前会長とワンツーフイニッシュとなり多少気が引けましたが、中部建築技術会の会長として、初の幹事を華やかに飾れたと前向きにとらえています。この度はありがとうございました。



## 掛川市との「災害に関する協定」を締結しました

令和6年3月14日、(一社)静岡県建築士事務所協会と掛川市は、公共施設の機能確保を図るため、災害復旧を速やかに行えるようにすることを目的とした「災害時における公共建築物の応急復旧工事の設計等業務に関する協定」を締結しました。当協会としては、静岡県教育委員会(平成30年3月締結)富士市(令和5年3月締結)菊川市(令和5年8月締結)に続く第4弾の協定締結です。

他の市町からも同様の協定に関する問い合わせや、締結に向けての準備を進めて頂いており、災害時における当協会の組織力に、より一層の期待が広がっております。



## 構造計算適合性判定

事前相談

事前審査

随時承ります

県内所在唯一の  
判定機関

迅速

正確

親切

丁寧

特定非営利活動法人 静岡県建築技術安心支援センター

静岡市葵区追手町2-12 静岡安藤ハザマビル4階(静岡駅北口より徒歩5分)

TEL 054-275-0030 FAX 054-221-0565

Email:npo-skgass@mail.wbs.ne.jp URL:http://www.skgass.jp/

## 編集後記

本誌がウェブ版となり数年が経ちますが、紙媒体の活字を読む機会が減ること同時に、ここ数年のあらゆる分野でのシステム変化がすごい勢いで起こっていると感じます。

ディズニーランドを楽しむにもスマートフォンは必需品、病院を予約するにもアプリから、車を運転する際にもスマートフォンで本人確認をするなどスマートフォンがなければ始まらないことがすごく増えています。

まだまだ変化の途中であると考え、この先に訪れるであろう未来にワクワクすると同時にもう戻らないんだなあとし寂しい複雑な気分を感じたりもしています。

広報・渉外委員会(中部支部) 塚本 章博

## 広報・渉外委員会

- 担当副会長 立道 浩幸
- 委員長 齊藤 滋史 (中部)
- 副委員長 中村 圭介 (西部)

- 委員 眞鍋 純一 (東部)
- 委員 八木 正憲 (東部)
- 委員 塚本 章博 (中部)
- 委員 深澤 勇気 (中部)
- 委員 松下 茂 (西部)

# SHIZUGAS

## 静岡ガスグループ

NICE WEB 申請システムによる電子申請をご利用ください

# 電子申請

建築基準法（確認・検査）、適合証明（設計・現場）の電子申請は、**2024年1月より、センター全事務所・支所**でお受けしております。ご申請の際、申請先にお近くの事務所・支所をお選びください。



24時間365日  
申請可能

来所不要で  
時間短縮

電子データで  
本申請

インターネットで  
進捗状況確認

ご利用に  
あたって

### 01 NICE WEB 申請システムへの利用登録が必要です。

NICE WEB 申請システムのご利用には、専用のログイン ID が必要です。利用申込み後、当センターにて、お客様のログイン ID を発行いたします。

### 02 電子申請のお支払い方法は、月締め支払（銀行振込）のみです。

現在、月締め支払でないお客様はシステムご利用前に月締め支払のお手続き（覚書締結など）が必要です。手続き完了まで 2 週間程度掛かりますので、お早めにお申込みください。

一般財団法人 静岡県建築住宅まちづくりセンター

【お問い合わせ】企画・営業部 ☎ 054-202-5540 ✉ eigyou@shizuoka-kjm.or.jp

▼ 詳しくはこちら ▼

静岡 まちせん 検索

